

とおちっ子

十市小学校だより 第14号

令和6年7月12日

文責 藤川 尚司

先週末梅雨の中休みで晴天が続き、猛烈な暑さに見舞われていました。学校では熱中症対策で、WBGT（暑さ指数）値を測定し、熱中症対策をしています。このWBGT 値が危険な値を示した時には、屋外での活動は中止することになっています。日差しの強い日中は、気温も水温もぐんぐん上がりますから、熱中症リスクが高くなります。そのため、この1週間のうち数日は、外遊びやプールでの活動を制限せざるを得ないことがありました。さわやかな青空のもと、子どもたちには元気に遊んでもらいたいところですが、猛烈な暑さでは致し方ありませんでした。

ところで、今週末は梅雨末期の大雨の予報も出されています。熱中症はもちろんですが、災害への心構えも忘れずにごしましょう。



七夕飾り

地域の山本征史さんが、学校に笹を届けてくださいました。各学年の子どもたちがそれぞれ短冊に願い事を書き、七夕飾りを作りました。

七夕飾りは、この季節らしい風物詩ですね。2年教室を訪ねると、教室前の廊下が七夕らしくなっていました。

みんなの幸せや平和な世界を願う、とても心温まる願いが書かれた短冊もあれば、勉強や運動が上達するようにという子どもらしい願いもありました。中には、「お金持ちになれますように」なんていう現実的な短冊もあり、思わず吹き出してしまいました。

2年生以外の学年もそれぞれに、七夕の雰囲気味わうことができました。笹をお届けいただいたご厚意に感謝いたします。



給食もりもり

今週、給食委員会が主催して、「給食もりもり大作戦」が行われています。暑さに負けず、しっかりと食べて、健康的な生活を送ろうという企画です。



給食を食べて、「ごちそうさま」をしたあと、子どもたちは給食の片づけを始めます。委員会の担当は、給食の返却口に控えて、各教室から戻された炊飯器や食缶に残った給食をチェックします。

南国市ではかねてから食育を進めていて、本校でも子どもたちが元気に毎日を過ごし、すくすくと成長することを願って、食べることの大切さの指導に努めています。また、生産者や調理員さんをはじめ食に関わる方々や食べ物そのものへの感謝の心を育みたいと願っています。



ます。給食をもりもり食べてもらうことは、大いに食育の願いにかなうことです。

本校の残食率は、年間を通じて3%以内をひとつの指標としていて、例年指標を下回っています。今回のもりもり大作戦でも、給食をしっかりと食べる子どもの姿が見られます。暑い夏の時期です。生活リズムを整え、十分な栄養補給をして夏バテなどせず、元気に夏を乗り切りましょう。

お知らせ

各種報道等でも伝えられていますが、新型コロナの罹患者が増加傾向にあるようです。学期末が近づいたこの時期ですので、やや気がかりです。子どもに発熱など、風邪様症状が見られたときは無理な登校は控え、医療機関を受診していただきますようお願いいたします。また、検査などを行った場合には、その結果を学校までお知らせいただきますようお願いいたします。